

全国学力・
学習状況調査
英語
予備調査問題

平成30年度英語予備調査問題からみる “英語の時間だけじゃない” 授業づくりの視点

POINT① 各教科等や学校教育活動全体において、児童生徒が表現する活動を設定しましょう。

「話すこと」の調査では、時計を見て、時刻を答える問題や、遊んでいる子供の絵を見て、子供の人数を答える問題などが出題されました。

時間は「It's～.」存在は「There are～.」で答えるというような文法を押さえることも大切ですが、正答例として、“Eight twenty.”や“Five.”も示されています。**知っている単語を駆使して、伝えようとする意欲を育成する**ことが大切です。次に示すような児童生徒が表現する活動を積極的に設定しましょう。

朝の会や帰りの会などの中で、輪番制で「1分間スピーチ」を行う

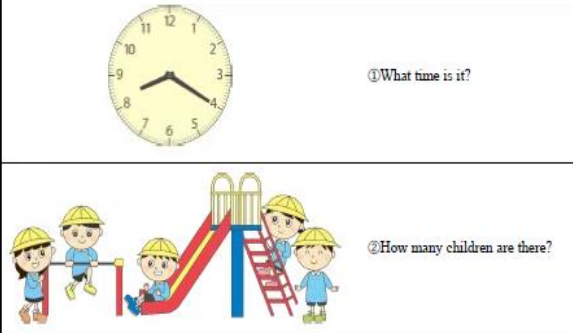
全校集会などで、メモを見ずに委員会の取組を紹介する

グループでの話し合いを他グループに報告する

各教科等で、問題の解き方や解決策を全体に紹介する

各教科等で、学んだ内容や学び方を振り返り、発表する

大問1 問題は、①から③まであります。解答時間は、それぞれ10秒です。それでは、始めます。



①What time is it?

②How many children are there?

POINT② 聞いたり読んだりしたことについて、その内容をまとめたり、自分の考えを書いたりする言語活動を設定しましょう。

「書くこと」の調査では、初めて日本を訪れる外国人観光客向けに「日本らしいお土産」を紹介する文を、すすめたい理由とともに30語以上の英語で書く問題が出題されました。

新学習指導要領には、**「書くこと」が苦手な生徒には、日頃から、自分の考えや気持ちをペアやグループで簡単な語句や文を用いて口頭で伝える活動をした後に、その活動を書いてまとめるという言語活動例**が示されています。

普段の授業から、自分の考えを話して、書いてまとめる活動等を習慣付けるようにしましょう。

A Gift from Japan!

Blank writing area for the activity.

※ここには、
あなたが選
んだお土産
の写真が入
ります。

